

参考文献(刑事:医療観察関係)

令和4年1月版
東京地裁・大阪地裁作成

分野	番号	文献名	編著者	出版社	備考
手続一般	★1	「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」及び「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律による審判の手続等に関する規則」の解説	白木功ほか	法曹会	執務で疑問点が生じた際にまず読むべき文献。
	2	医療観察事件執務資料	最高裁判所事務総局	最高裁判所事務総局	
	3	Q&A心神喪失者等医療観察法解説(第2版補訂版)	日本弁護士連合会刑事法制委員会編	三省堂	
	4	医療観察法審判ハンドブック(第2版[改訂版]Ver.1.1)	三澤孝夫監修		
	5	医療観察法事件処理マニュアル(最高裁版)			
	★6	心神喪失等医療観察法による審判手続について	岡田雄一・並木正男	判例タイムズ1170号15頁	施行前の検討状況。各種手続の流れを概観することができる。
	★7	心神喪失者等医療観察法施行後2年の現状と課題について	三好幹夫	判例タイムズ1261号25頁	カンファレンスの持ち方などについて参考になる。
	8	大阪地方裁判所における「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」施行後の事件処理状況	並木正男・西田眞基	判例タイムズ1261号36頁	
	9	心神喪失者等医療観察法による審判手続の実際	岡田雄一	小林充先生・佐藤文哉先生古希祝賀刑事裁判論集上巻56	
	10	心神喪失者等医療観察法による審判手続をめぐる諸問題	稗田雅洋	小林充先生・佐藤文哉先生古希祝賀刑事裁判論集上巻58	
	★11	心神喪失者等医療観察法による審判手続の運用の実情と留意点	稗田雅洋	植村立郎判事退官記念論文集第2巻389頁	施行後約6年後の論考。対象者の症状固定化後の処遇について参考になる。
	12	医療観察法42条に基づく処遇選択について	平出喜一	植村立郎判事退官記念論文集第2巻409頁	
	13	心神喪失者等医療観察法裁判官協議会議事要録集(平成18年度～平成21年度) 心神喪失者等医療観察法関係研究協議会結果要旨(平成26年度、平成27年度)	最高裁判所事務総局刑事局		番号1の文献を補うもので、各種手続の運用上の諸問題について議論した結果であり、執務上も参考になる。
	14	最高裁平成19年7月25日第2小法廷決定 刑集61巻5号563頁			医療観察法33条1項の申立てがあった場合に、医療の必要があり、対象行為を行った際の精神障害の改善に伴って同様の行為を行うことなく社会に復帰できるようにすることが必要な対象者について、措置入院等の医療で足りるとして同法による医療を行わない旨の決定をすることの可否
	15	最高裁平成20年6月18日第3小法廷決定 刑集62巻6号1812頁			妄想型統合失調症による幻覚妄想状態の中で幻聴、妄想等に基づいて行為を行った行為が医療観察法2条2項の対象行為に該当するかどうかの判断方法

参考文献(刑事:医療觀察関係)

令和4年1月版

東京地裁・大阪地裁作成

分野	番号	文献名	編著者	出版社	備考
裁判例	16	最高裁平成29年12月25日第1小法廷決定 刑集71巻10号627頁			医療觀察法による入院決定を受けた対象者からの医療終了の申立て及び指定入院医療機関からの退院の許可の申立ての審判において、治療可能性が認められないという前記管理者の意見を、必要に応じた適宜の調査を行うことなく、また、入院決定時の判断を前記意見に優先させるべき理由を十分に説明することもなく、直ちに排斥したなどの事情下では、各申立てを棄却した各原々決定及びこれを維持した各原決定には、同法51条1項の解釈適用を誤り、前記意見の合理性・妥当性の審査を尽くすことなくこれを排斥した点において、審理不尽の違法があるとされた事例。
	17	最高裁令和3年8月30日第2小法廷決定 裁判所時報1775号1頁(刑集登載予定)			アルコール依存に罹患している対象者について、心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律による入院決定をした原々決定を取り消した原決定に同法42条1項、64条2項の解釈適用を誤った違法があるとされた事例。
精神疾患	18	ICD-10精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン(新訂版)	融道男ほか監訳	医学書院	
	19	DSM-5精神疾患の分類と診断の手引	日本精神神経学会	医学書院	
	20	現代精神医学事典	加藤敏ほか	弘文堂	
	21	カプラン精神科薬物ハンドブック第5版	神庭重信ほか	メディカルサイエンスインターナショナル	

※ ★印がついたものは特に重要な文献である。